

2016年度  
決算説明資料

2017年5月11日  
旭化成株式会社

## 1. 2016年度実績

主要決算数値	P4～5
連結損益計算書	P6
金融収支・有利子負債残高	P7
特別損益	P8
連結貸借対照表	P9
連結キャッシュ・フロー計算書	P10
設備投資額、減価償却費、研究開発費	
セグメント別売上高・営業利益	P11
事業別売上高・営業利益	P12～15

## 2. 2017年度業績予想

当期の業績予想	P17
セグメント別売上高・営業利益予想	P18
事業別売上高・営業利益予想	P19～21
<b>3. 参考資料</b>	
事業別業績推移	P23～24
事業別設備投資額、 減価償却費、研究開発費	P25
設備投資件名	P26
連結包括利益計算書	P27
事業別概況	P28～40

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。  
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

# 1. 2016年度実績

# 主要決算数値(1)

(億円)

	15年度*1	16年度	
	a	実績 b	最新予想*2 c
売上高	19,409	18,830	18,700
営業利益	1,652	1,592	1,530
経常利益	1,614	1,606	1,540
親会社株主に帰属する 当期純利益	918	1,150	1,060

対前年度 (b-a)		対最新予想 (b-c)	
増減額	増減率	増減額	増減率
-579	-3.0%	130	0.7%
-60	-3.6%	62	4.1%
-7	-0.5%	66	4.3%
232	25.3%	90	8.5%

## <前提>

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	42,800	34,675	34,725
為替レート(相場平均)			
¥/USドル	120	108	108
¥/ユーロ	133	119	119

	16/3月末	17/3月末
総資産	22,117	22,545
自己資本	10,419	11,513
有利子負債残高	4,497	4,028
D/Eレシオ	0.43	0.35

増減
428
1,094
-468
-0.08

\*1 2015年8月26日付け(米国東部時間)で買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社などを、2015年度第2四半期より新たに連結の範囲に含めて開示している。

\*2 2017年2月時点の予想

## 主要決算数値(2)

	15年度	16年度
1株当たり当期純利益(EPS)	65.69円	82.34円
1株当たり年間配当金	20円	24円
配当性向	30.4 %	29.1 %
総資産利益率(ROA)	4.3 %	5.1 %
自己資本利益率(ROE)	8.6 %	10.5 %
1株当たり純資産(BPS)	745.94円	824.36円

### <連結対象範囲>

連結子会社数	174	171
持分法適用会社数	31	32

期末人員	32,821人	33,720人
------	---------	---------

# 連結損益計算書

(億円)

(%は売上高比率)	15年度	16年度
売上高	100.0% 19,409	100.0% 18,830
売上原価	69.8% 13,547	68.8% 12,963
売上総利益	30.2% 5,862	31.2% 5,867
販管費	21.7% 4,210	22.7% 4,275
営業利益	8.5% 1,652	8.5% 1,592
営業外損益	-38	14
(内、金融収支)	(25)	(21)
(内、持分法投資損益)	(-9)	(49)
(内、為替差損)	(-37)	(-12)
経常利益	8.3% 1,614	8.5% 1,606
特別損益	-150	-32
税前利益	7.5% 1,464	8.4% 1,574
法人税等	-530	-407
非支配株主に帰属する 当期純利益	-17	-17
親会社株主に帰属する 当期純利益	4.7% 918	6.1% 1,150

増減額	増減率
-579	-3.0%
-584	-4.3%
5	0.1%
65	1.5%
-60	-3.6%
52	
(-4)	
(58)	
(25)	
-7	-0.5%
117	
110	7.5%
123	
-0	
232	25.3%

# 金融収支・有利子負債残高

## (1) 金融収支

(億円)

	15年度	16年度	増減
支払利息	-36	-44	-8
受取利息	14	14	0
受取配当金	48	52	4
その他	-1	-1	0
合 計	25	21	-4

## (2) 有利子負債残高

(億円)

	16/3月末	17/3月末	増減
短期借入金	3,136	1,135	-2,001
コマーシャル・ペーパー	-	560	560
1年内償還予定の社債	-	200	200
社債	400	200	-200
長期借入金	946	1,926	980
リース債務	15	8	-7
合 計	4,497	4,028	-468

# 特別損益

(億円)

	15年度	16年度	増減
投資有価証券売却益	83	99	16
固定資産売却益	9	2	-8
特別利益	92	101	9
投資有価証券評価損	4	1	-3
固定資産処分損	52	49	-4
減損損失	35	15	-20
事業構造改善費用	36	62	26
訴訟和解金	12	-	-12
杭工事関連損失 <sup>*1</sup>	15	-	-15
統合関連費用	15	7	-9
特別退職金等 <sup>*2</sup>	20	-	-20
共同販売契約終了に伴う損失	53	-	-53
特別損失	242	133	-108
特別損益	-150	-32	117

\*1 旭化成建材が過去に施工した杭工事における施工データ流用等に関する調査費用等

\*2 Polypore International, LP買収後、一部の経営幹部が退任したことに伴う退職金等



# 連結貸借対照表

(億円)

	16/3月末	17/3月末	増減		16/3月末	17/3月末	増減
流動資産	8,560	8,945	385	負債	11,543	10,864	-679
現金及び預金	1,461	1,453	-8	流動負債	7,257	5,949	-1,308
受取手形及び売掛金	2,801	3,028	227	固定負債	4,287	4,915	628
棚卸資産	3,367	3,467	99	純資産	10,574	11,681	1,107
その他	931	998	67	株主資本	9,427	10,301	874
固定資産	13,557	13,600	42	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	5,560	5,569	9	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	4,946	4,628	-318	利益剰余金	7,631	8,505	875
投資その他の資産	3,051	3,403	352	自己株式	-32	-32	-1
				その他の包括利益累計額	992	1,212	220
				非支配株主持分	155	168	13
資産合計	22,117	22,545	428	負債純資産合計	22,117	22,545	428

# 連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

## (1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	15年度	16年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	2,162	1,690
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-2,853	-899
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	-691	790
財務活動によるキャッシュ・フロー④	1,014	-740
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-56	-68
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	267	-17

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,123	1,453
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	63	4
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	1,453	1,441

## (2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	15年度	16年度
設備投資額(有形)	892	809
設備投資額(無形)	98	97
設備投資額計	990	906
減価償却費(有形と無形(除く、のれん)の合計)	938	914
減価償却費(のれん償却額)	158	178
減価償却費	1,096	1,092
研究開発費	811	796

# セグメント別売上高・営業利益

(億円)

	売上高			営業利益			16年度最新予想*1	
	15年度	16年度	増減	15年度	16年度	増減	売上高	営業利益
マテリアル*2	10,044	9,732	-313	792	845	53	9,580	785
住宅	6,324	6,190	-135	710	641	-69	6,200	635
ヘルスケア	2,854	2,701	-153	362	319	-43	2,700	325
その他	187	207	21	38	60	23	220	50
消去又は全社	-	-	-	-250	-273	-23	-	-265
合計	19,409	18,830	-579	1,652	1,592	-60	18,700	1,530

\*1 2017年2月時点の予想

\*2 2015年度第2四半期より、2015年8月26日付けで買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社の業績を「マテリアル」セグメントに含めて開示している。

# 事業別売上高・営業利益\*1

(億円)

	売上高			営業利益			16年度最新予想*2	
	15年度	16年度	増減	15年度	16年度	増減	売上高	営業利益
繊維	1,321	1,257	-64	139	117	-22	1,250	120
ケミカル	7,507	7,081	-427	609	704	94	6,940	655
エレクトロニクス*3	1,216	1,394	178	44	25	-20	1,390	10
住宅	5,830	5,702	-128	654	595	-60	5,710	590
建材	494	488	-6	58	45	-14	490	45
医薬・医療	1,449	1,339	-110	243	171	-72	1,340	175
クリティカルケア	1,405	1,362	-43	119	148	29	1,360	150
その他	187	207	21	38	60	23	220	50
消去又は全社	-	-	-	-253	-271	-19	-	-265
合計	19,409	18,830	-579	1,652	1,592	-60	18,700	1,530

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2017年2月時点の予想

\*3 2015年度第2四半期より、2015年8月26日付けで買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社の業績を「エレクトロニクス」事業に含めて開示している。

# 事業別売上高・営業利益\*1増減要因(1)

(億円)

		15年度	16年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
繊維	売上高	1,321	1,257	-64	29	-58	-28	-35	-
	営業利益	139	117	-22	22				
ケミカル	売上高	7,507	7,081	-427	104	-348	-222	-183	-
	営業利益	609	704	94	50				
エレクトロニクス*2	売上高	1,216	1,394	178	326	-108	-46	-40	-
	営業利益	44	25	-20	77				
住宅	売上高	5,830	5,702	-128	21	19	-	-168	-
	営業利益	654	595	-60	-15				
建材	売上高	494	488	-6	-28	-5	-	27	-
	営業利益	58	45	-14	-9				

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2015年度第2四半期より、2015年8月26日付けで買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社の業績を「エレクトロニクス」事業に含めて開示している。

# 事業別売上高・営業利益\*1増減要因(2)

(億円)

		15年度	16年度	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
医薬・医療	売上高	1,449	1,339	-110	18	-111	-36	-18	-
	営業利益	243	171	-72	12			-	26
クリティカルケア	売上高	1,405	1,362	-43	75	19	-0	-137	-
	営業利益	119	148	29	58			-	-48
その他	売上高	187	207	21	21	-	-	-	-
	営業利益	38	60	23	19			-	4
消去又は全社	営業損失	-253	-271	-19	-	-	-	-	-19
合計	売上高	19,409	18,830	-579	565	-591	-332	-553	-
	営業利益	1,652	1,592	-60	215			-	316

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

# 事業別売上高・営業利益(海外売上高)

(億円)

	15年度			16年度			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
繊維	1,321	574	43.5%	1,257	548	43.6%	-27	-4.6%
ケミカル	7,507	3,612	48.1%	7,081	3,285	46.4%	-327	-9.0%
エレクトロニクス*1	1,216	816	67.0%	1,394	968	69.4%	152	18.6%
住宅	5,830	-	-	5,702	-	-	-	-
建材	494	-	-	488	0	0.0%	0	-
医薬・医療	1,449	397	27.4%	1,339	390	29.1%	-7	-1.9%
クリティカルケア	1,405	1,393	99.1%	1,362	1,347	98.9%	-46	-3.3%
その他	187	5	2.7%	207	26	12.6%	21	421.5%
合計	19,409	6,797	35.0%	18,830	6,564	34.9%	-234	-3.4%
東アジア地域*2への売上高		3,087	15.9%		2,915	15.5%	-172	-5.6%
(内、中国への売上高)		1,852	9.5%		1,655	8.8%	-198	-10.7%

<参考>住宅・建材を除いた売上高 13,085 6,797 51.9% 12,640 6,564 51.9%

\*1 2015年度第2四半期より、2015年8月26日付けで買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社の業績を「エレクトロニクス」事業に含めて開示している。

\*2 中国、韓国、台湾

## 2. 2017年度業績予想



# 当期の業績予想

(億円)

	15年度*1	16年度			17年度(予)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高	19,409	8,907	9,923	18,830	9,500	10,400	19,900	1,070
営業利益	1,652	708	885	1,592	715	935	1,650	58
経常利益	1,614	699	908	1,606	735	965	1,700	94
親会社株主に帰属する 当期純利益	918	529	621	1,150	490	660	1,150	0

## <前提>

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	42,800	31,450	37,900	34,675	41,000	41,000	41,000	6,325
為替レート(相場平均)								
¥/USドル	120	105	112	108	110	110	110	2
¥/ユーロ	133	118	119	119	120	120	120	1

	15年度	16年度	17年度
1株当たり年間配当金	20円	24円	24円 (予定)
配当性向	30.4%	29.1%	29.1%

\*1 2015年8月26日付け(米国東部時間)で買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社などを、2015年度第2四半期より新たに連結の範囲に含めて開示している。

# セグメント別売上高・営業利益予想

## <売上高>

(億円)

	16年度<組替後>			17年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
マテリアル <sup>*1</sup>	4,640	5,139	9,779	5,040	5,290	10,330	551
住宅	2,875	3,315	6,190	2,960	3,510	6,470	280
ヘルスケア	1,323	1,378	2,701	1,410	1,500	2,910	209
その他 <sup>*1</sup>	70	90	160	90	100	190	30
合 計	8,907	9,923	18,830	9,500	10,400	19,900	1,070

## <営業利益>

(億円)

	16年度<組替後>			17年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
マテリアル <sup>*1</sup>	389	496	885	445	455	900	15
住宅	265	376	641	230	415	645	4
ヘルスケア	176	144	319	165	190	355	36
その他 <sup>*1</sup>	9	12	20	10	10	20	-0
消去又は全社	-131	-142	-273	-135	-135	-270	3
合 計	708	885	1,592	715	935	1,650	58

\*1 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「マテリアル」セグメントに移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

# 事業別売上高予想

(億円)

	16年度<組替後>			17年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
繊維	623	634	1,257	660	710	1,370	113
ケミカル* <sup>1</sup>	3,348	3,780	7,128	3,610	3,830	7,440	312
エレクトロニクス	669	725	1,394	770	750	1,520	126
住宅	2,648	3,053	5,702	2,700	3,230	5,930	228
建材	226	262	488	260	280	540	52
医薬・医療	678	661	1,339	670	700	1,370	31
クリティカルケア	645	717	1,362	740	800	1,540	178
その他* <sup>1</sup>	70	90	160	90	100	190	30
合 計	8,907	9,923	18,830	9,500	10,400	19,900	1,070

\*1 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

# 事業別営業利益\*1予想

(億円)

	16年度<組替後>			17年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
繊維	60	57	117	60	65	125	8
ケミカル*2	333	411	744	355	370	725	-19
エレクトロニクス	-3	28	25	30	20	50	25
住宅	246	349	595	215	385	600	5
建材	18	26	45	15	30	45	0
医薬・医療	107	64	171	90	90	180	9
クリティカルケア	68	80	148	75	100	175	27
その他*2	9	12	20	10	10	20	-0
消去又は全社	-130	-141	-271	-135	-135	-270	1
合計	708	885	1,592	715	935	1,650	58

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

# 当期業績\*1の見通し

	業績(億円)		見通し
	16年度	17年度予 ＜組替後＞	
繊維	売上高 1,257 営業利益 117	1,370 125	生産設備を増設したオムツ向けспанボンド不織布やナイロン66繊維「レオナ」を中心に販売数量の増加を見込むことなどから、増収・増益となる見通し。
ケミカル*2	売上高 7,128 営業利益 744	7,440 725	低燃費タイヤ向け合成ゴムやエンジニアリング樹脂、電子材料製品などで販売数量の増加を見込むものの、エチレンセンター(三菱ケミカル旭化成エチレン(株))の定期修理の影響や原燃料価格の変動によって発生した総平均差の影響などにより、増収・減益となる見通し。
エレクトロニクス	売上高 1,394 営業利益 25	1,520 50	セパレータ事業の各製品で販売数量の増加を見込むことや、電子部品事業ではオーディオデバイスやカメラモジュール向けなどスマートフォン向け電子部品の販売が堅調に推移することなどから、増収・増益となる見通し。
住宅	売上高 5,702 営業利益 595	5,930 600	建築請負部門で労務費などの販管費が増加するものの、引渡棟数が増加する見通し。また、不動産部門の賃貸管理事業が順調に推移することなどから、全体で増収・増益となる見通し。
建材	売上高 488 営業利益 45	540 45	フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」を中心に販売数量の増加を見込むものの、原材料費などの上昇を見込むことなどから、売上高は増収、営業利益は前期並みとなる見通し。
医薬・医療	売上高 1,339 営業利益 171	1,370 180	医薬事業は、骨粗鬆症治療剤「テリボン」などの販売数量の増加を見込むものの、「テリボン」の自己投与製剤の開発に伴う研究開発費などが増加する見通し。医療事業では、ウイルス除去フィルター「プラノバ」を中心に販売が堅調に推移する見通し。全体で増収・増益となる見通し。
クリティカルケア	売上高 1,362 営業利益 148	1,540 175	営業活動強化に伴う販管費が増加するものの、着用型自動除細動器「LifeVest」を中心に引き続き業績の拡大を見込むことにより、増収・増益となる見通し。

\*1 セグメントの営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

## 3. 参考資料

# 事業別売上高推移

(億円)

	15年度				16年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
繊維	330	338	338	314	309	314	314	320
ケミカル	2,069	1,945	1,857	1,636	1,658	1,668	1,840	1,915
エレクトロニクス*1	247	288	355	327	322	347	364	361
住宅	1,099	1,481	1,444	1,806	1,157	1,491	1,254	1,799
建材	122	134	138	100	103	123	141	121
医薬・医療	385	370	369	325	345	333	343	318
クリティカルケア	327	350	361	366	322	323	348	370
その他	44	45	46	51	41	52	57	58
合 計	4,624	4,951	4,909	4,925	4,258	4,649	4,661	5,261

\*1 2015年度第2四半期より、2015年8月26日付けで買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社の業績を「エレクトロニクス」事業に含めて開示している。

# 事業別営業損益\*1推移

(億円)

	15年度				16年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
繊維	40	33	41	24	33	27	33	24
ケミカル	151	192	156	111	142	175	208	179
エレクトロニクス*2	43	21	-13	-6	-1	-2	17	11
住宅	61	184	155	255	78	168	108	241
建材	12	19	21	6	9	10	19	8
医薬・医療	93	67	77	7	68	40	54	10
クリティカルケア	15	33	34	38	28	40	40	40
その他	4	19	12	3	7	17	20	16
消去又は全社	-62	-78	-60	-53	-64	-66	-65	-76
合計	355	489	422	386	299	409	434	451

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2015年度第2四半期より、2015年8月26日付けで買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社の業績を「エレクトロニクス」事業に含めて開示している。



# 事業別設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	設備投資額*1			減価償却費*2			研究開発費		
	15年度	16年度	17年度 予想	15年度	16年度	17年度 予想	15年度	16年度	17年度 予想
繊維	121	94	135	71	75		32	29	
ケミカル	317	262	300	308	285		224	170	
エレクトロニクス*3	134	116	180	134	148		117	116	
住宅	101	91	85	68	69		26	26	
建材	19	30	35	27	25		8	8	
医薬・医療	80	111	110	82	66		213	197	
クリティカルケア	114	45	70	134	116		110	114	
その他	47	68	15	46	46		1	1	
消去又は全社	58	88	70	68	83		81	135	
合 計	990	906	1,000	938	914	990	811	796	870

のれん償却額 158 178

\*1 2017年度予想は、従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴って組替えた後の数値で表示している。

\*2 有形固定資産、無形固定資産(除く、のれん)の償却額を合算した金額で開示している。

\*3 2015年度第2四半期より、2015年8月26日付けで買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社の業績を「エレクトロニクス」事業に含めて開示している。

## <16年度完工件名>

- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア」の生産設備増設(～16年春、約6,000万㎡/年、宮崎県日向市)
- ・リコモジュリン原薬工場新棟建設(15/3～16/6、静岡県富士市)
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ BioEX」の紡糸工場建設(～16/9、大分県大分市)
- ・再生セルロース(キュプラ)長繊維不織布「ベンリーゼ」生産設備増設(15/12～17/2、約1,500トン/年、宮崎県延岡市)

## <16年度末時点 工事中件名>

- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア」の生産設備増設(～18年度上期、約6,000万㎡/年、滋賀県守山市)

○:投資額30億円以上

# 連結包括利益計算書

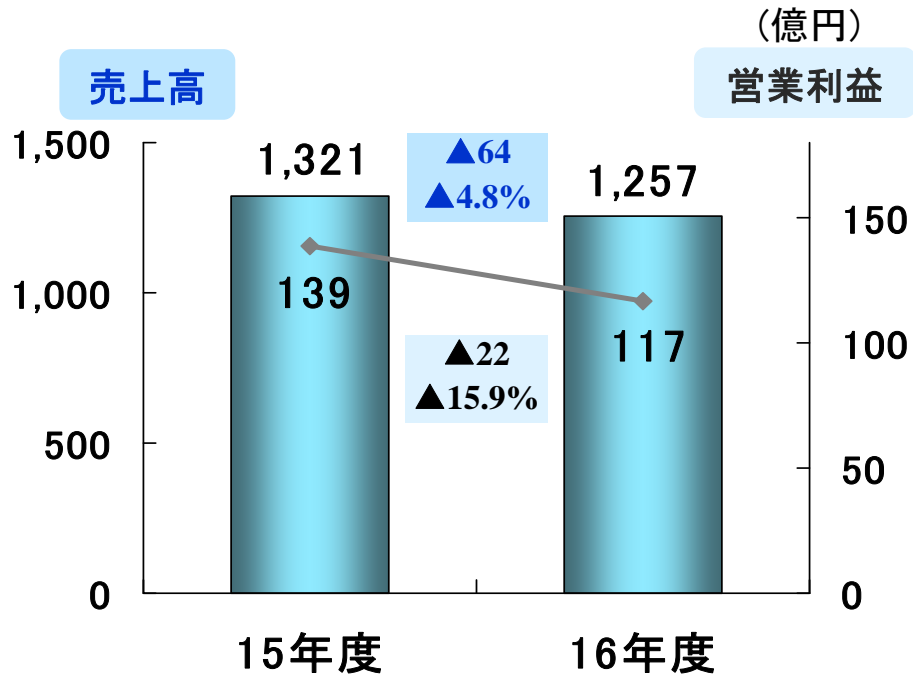
AsahiKASEI

(億円)

	15年度	16年度	増減
当期純利益①	934	1,167	233
その他有価証券評価差額金	-211	212	423
繰延ヘッジ損益	15	2	-13
為替換算調整勘定	-489	-80	408
退職給付に係る調整額	-333	81	414
持分法適用会社に対する持分相当額	-36	8	44
その他の包括利益合計②	-1,053	223	1,277
包括利益(①+②)	-119	1,390	1,509

(内訳)

親会社株主に係る包括利益	-127	1,370	1,498
非支配株主に係る包括利益	8	19	12



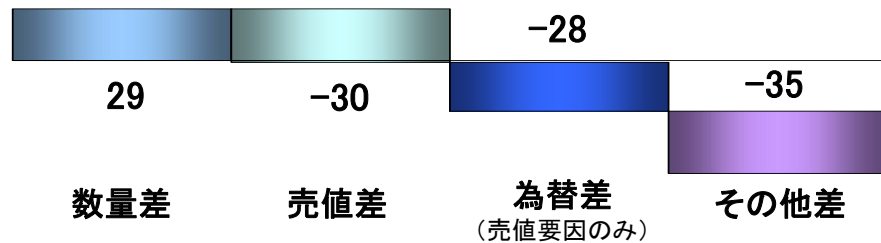
## <概況>

キュプラ繊維「ベンベルグ」や人工皮革「ラムース」、ナイロン66繊維「レオナ」の販売数量が増加したが、競合による販売価格の下落や、各製品において円高の影響を受けたことなどから、前期比減収、減益となった。

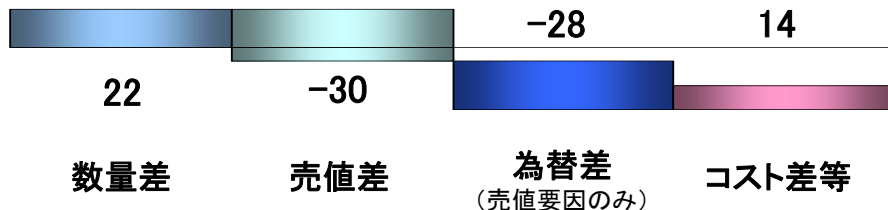
## <トピックス>

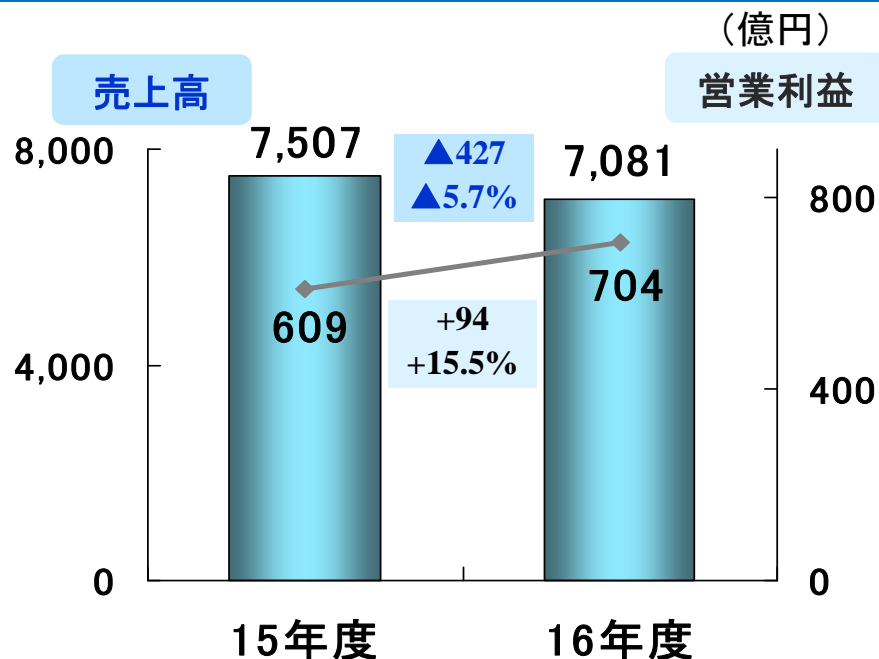
- ・宮崎県延岡市において「ベンリーゼ」増設設備の商業運転を開始。(2月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





## <概況>

### ・石油化学事業

国内石油化学事業の基盤強化に伴いスチレンモノマーの販売数量が減少したが、アクリロニトリルにおいて交易条件が改善したことなどから、前期比減収、増益となった。

### ・高機能ポリマー事業

低燃費タイヤ向け合成ゴムやエンジニアリング樹脂の販売数量が増加したが、各製品において円高の影響を受けたことなどから、前期比増収、減益となった。

### ・高機能マテリアルズ事業・消費財事業

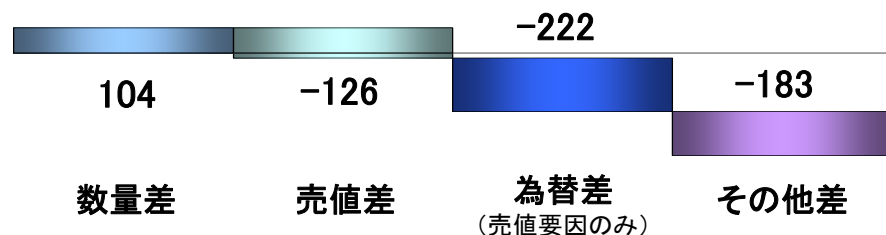
イオン交換膜などで円高の影響を受けたものの、電子材料製品や「サランラップ」などの消費財製品の販売が順調に推移したことなどから、前期比減収、増益となった。

## <トピックス>

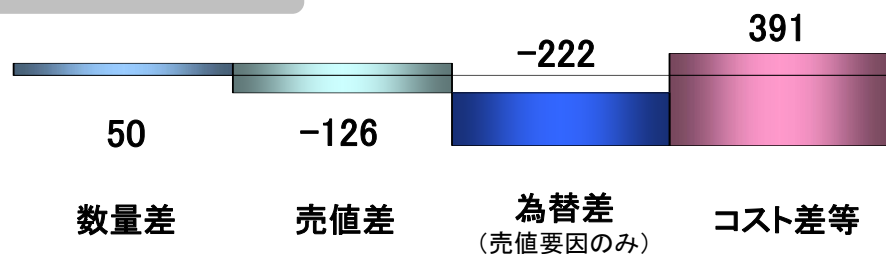
・欧州における自動車関連ビジネスの拡大に向け、旭化成ヨーロッパ機能樹脂テクニカルセンターを開設。(2月)

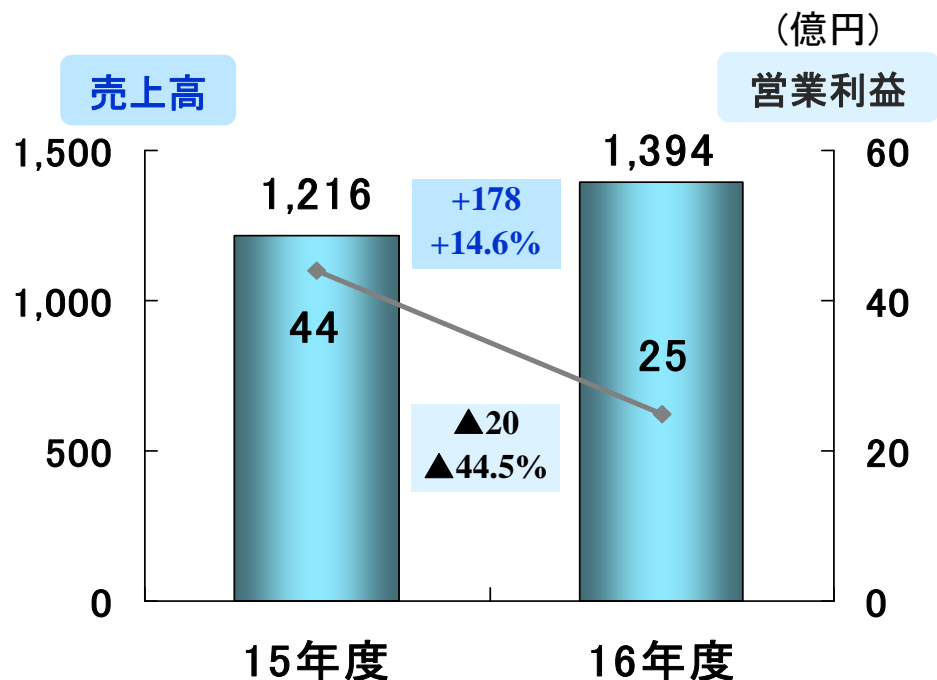
・中国藍星(集団)股份有限公司と変性PPE(ポリフェニレンエーテル)樹脂「ザイロン」およびその原料であるPPEモノマー、ポリマーを一貫して中国国内で製造・販売する共同事業化に向けた合弁契約を締結。(2月)

### 売上高増減分析

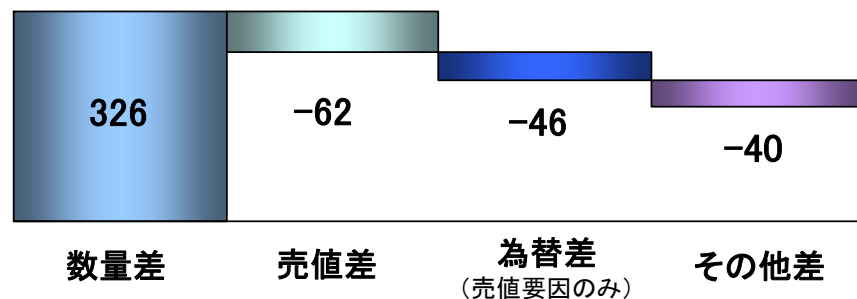


### 営業利益増減分析

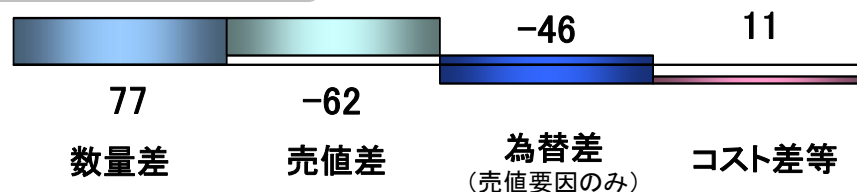




## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析



## <概況>

### ・セパレータ事業

各製品の販売数量が増加し、2015年度第2四半期より連結したPolyporeの業績を取り込んだが、買収に伴うのれん償却費等を計上し、円高の影響も受けたことなどから、前期比増収、減益となった。

### ・電子部品事業

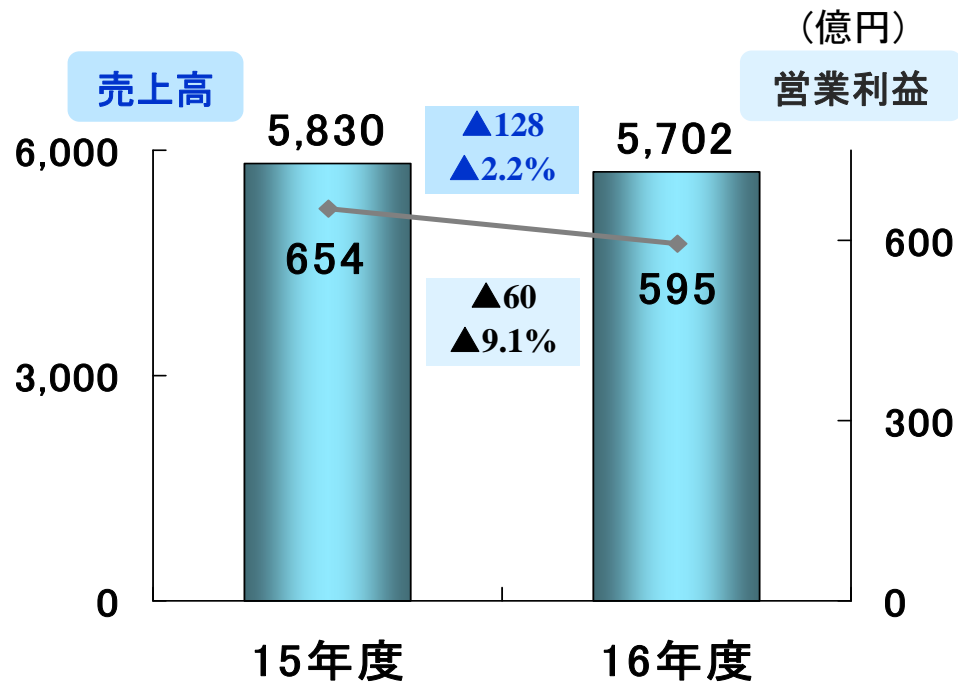
円高の影響を受けたが、オーディオデバイスなどのスマートフォン向け電子部品の販売数量が増加したことなどから、前期比増収、増益となった。

## <トピックス>

・「ハイポア」の滋賀県守山市での生産設備増強 (6,000万㎡/年・2018年度上期商業運転開始予定)を公表。(5月)

・「ハイポア」の滋賀県守山市での生産設備増強 (2億㎡/年・2019年度上期商業運転開始予定)を公表。(3月)

\*1 2015年度第2四半期より、2015年8月26日付けで買収を完了した米国Polypore International, LP及びその連結子会社の業績を「エレクトロニクス」事業に含めて開示している。



## 事業別増減分析

(億円)

	15年度		16年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	4,115	484	4,043	416	▲72	▲68
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	1,141	84	1,094	100	▲47	16
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	559	65	561	57	3	▲8
その他住宅周辺事業等	16	21	4	22	▲12	1
合計	5,830	654	5,702	595	▲128	▲60

## <概況>

### ・建築請負部門

- ・2015年度の受注実績の影響を受け、戸建住宅「ヘーベルハウス」や集合住宅「ヘーベルメゾン」の引渡棟数が減少し、広告宣伝費などの販管費が増加したことなどから、前期比で減収、減益となった。
- ・建築請負部門の受注高は、15年10月後半より広告宣伝活動を控えていた影響を16年4-9月を中心に受けたが、16年10月-17年3月では前年同期比6.1%の受注増となったことなどにより、前期比0.1%で前年並みの受注となった。

### ・不動産部門、リフォーム部門等

- ・リフォーム部門で労務費などの販管費が増加したものの、不動産部門の賃貸管理事業が順調に推移したことなどから、前期比減収、増益となった。

## <トピックス>

- ・中高層建築事業、分譲マンション事業、既存マンションの大規模修繕やリノベーション事業等の事業分野におけるノウハウの共有を含む業務の提携を目的として(株)森組との資本提携を発表。(5月)
- ・旭化成不動産レジデンスで初となる海外でのマンション分譲事業案件として、台湾の新北市中和区にて建設されるプロジェクトに参画。(5月)販売開始。(11月)
- ・鉄骨ラーメン構造の工業化技術を中高層建築に展開し、上層階における店舗・事務所など多様なニーズに対応可能な中高層用ビルディングシステム「ヘーベルビルズシステム」の先行販売開始。(11月)
- ・関東地区における住宅用鉄骨部材の生産体制の強化、コストダウンを実現するための金属加工事業の事業分野におけるノウハウの共有を含む業務の提携を目的として中央ビルト工業(株)との資本提携を発表。(2月)

# 住宅／売上高、受注高の状況

(単位: 億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	建築請負 部門売上高*1	不動産 部門売上高*1				リフォーム 部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
13	上期	2,519 (21.4%)	1,810 (12.1%)	45	262	14	321	245	8	2,384 (11.9%)	5,199
	下期	1,694 (▲17.3%)	2,131 (3.5%)	248	279	11	537	281	11	2,960 (8.4%)	4,815
	通期	4,213 (2.2%)	3,941 (7.3%)	293	541	25	858	526	19	5,344 (9.9%)	
14	上期	2,176 (▲13.6%)	1,879 (3.9%)	98	293	14	406	263	11	2,560 (7.4%)	5,163
	下期	2,080 (22.8%)	2,162 (1.5%)	180	318	16	514	273	9	2,958 (▲0.1%)	5,145
	通期	4,257 (1.0%)	4,042 (2.6%)	278	611	31	920	536	20	5,518 (3.3%)	
15	上期	2,173 (▲0.2%)	1,838 (▲2.2%)	104	335	17	456	278	9	2,580 (0.8%)	5,546
	下期	1,831 (▲12.0%)	2,277 (5.3%)	277	390	18	684	281	7	3,250 (9.9%)	5,131
	通期	4,004 (▲5.9%)	4,115 (1.8%)	381	725	35	1,141	559	16	5,830 (5.7%)	
16	上期	2,066 (▲4.9%)	1,835 (▲0.1%)	118	412	18	548	270	▲5	2,648 (2.6%)	5,388
	下期	1,943 (6.1%)	2,208 (▲3.1%)	95	435	16	546	291	8	3,053 (▲6.1%)	5,158
	通期	4,009 (0.1%)	4,043 (▲1.8%)	213	847	34	1,094	561	4	5,702 (▲2.2%)	
17	通期予	4,225 (5.4%)	4,100 (1.4%)	290	925	35	1,250	570	10	5,930 (4.0%)	5,338

\*1 2015年度下期より「建築請負部門」に算入されていた旭化成ホームズの賃貸管理事業を「不動産部門」に移管し、移管後の数値で記載している。



## 1. 2016年度 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄: 前期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	2,198	3.4%	6,989	0.5%	2,181	1.8%	6,884	-0.5%
	中層	815	-6.0%	3,108	-10.4%	861	-2.0%	3,273	0.2%
	小計	3,013	0.7%	10,097	-3.1%	3,042	0.7%	10,157	-0.2%
集 合 系	低層	330	-12.6%	2,376	-19.6%	304	-14.1%	2,168	-17.5%
	中層	640	-1.0%	4,827	-2.2%	663	5.7%	4,548	-1.1%
	小計	970	-5.3%	7,203	-8.8%	968	-1.5%	6,716	-7.1%
建築請負事業合計		3,983	-0.9%	17,300	-5.5%	4,009	0.1%	16,873	-3.1%
その他*1		60	-38.6%	27	8.0%	-	-	-	-
建築請負部門合計		4,043	-1.8%	17,327	-5.5%	4,009	0.1%	16,873	-3.1%

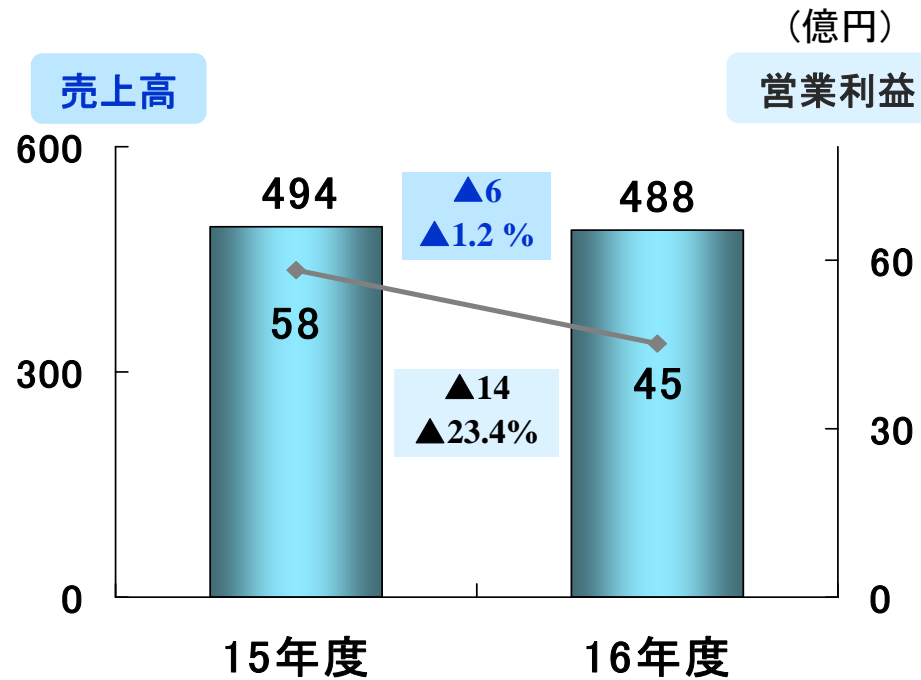
\*1 一部分譲事業(「街かどヘーベルハウス」分譲、売建分譲)等。

## 2. 2017年度予想 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄: 前期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	2,125	-3.3%	6,700	-4.1%	2,234	2.4%	7,010	1.8%
	中層	850	4.2%	3,340	7.5%	888	3.2%	3,340	2.0%
	小計	2,975	-1.3%	10,040	-0.6%	3,122	2.6%	10,350	1.9%
集 合 系	低層	350	6.1%	2,440	2.7%	356	17.0%	2,530	16.7%
	中層	720	12.5%	5,230	8.3%	747	12.6%	5,220	14.8%
	小計	1,070	10.4%	7,660	6.3%	1,103	14.0%	7,750	15.4%
建築請負事業合計		4,045	1.6%	17,700	2.3%	4,225	5.4%	18,100	7.3%
その他*1		55	-8.7%	20	-25.9%	-	-	-	-
建築請負部門合計		4,100	1.4%	17,720	2.3%	4,225	5.4%	18,100	7.3%

\*1 一部分譲事業(「街かどヘーベルハウス」分譲、売建分譲)等。



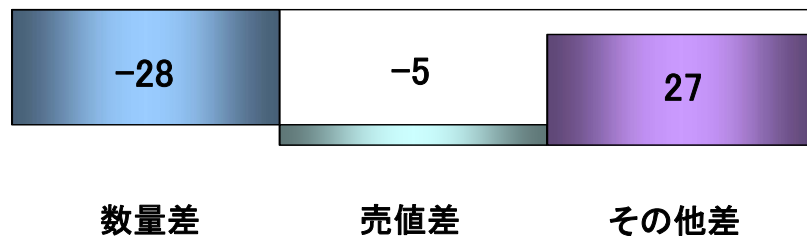
## <概況>

フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」の販売が順調に推移したものの、ALC事業や基礎事業で販売数量が減少したことなどから、前期比減収、減益となった。

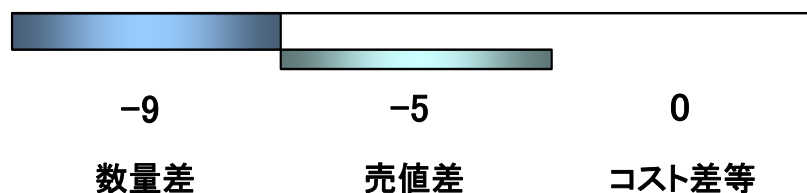
## <トピックス>

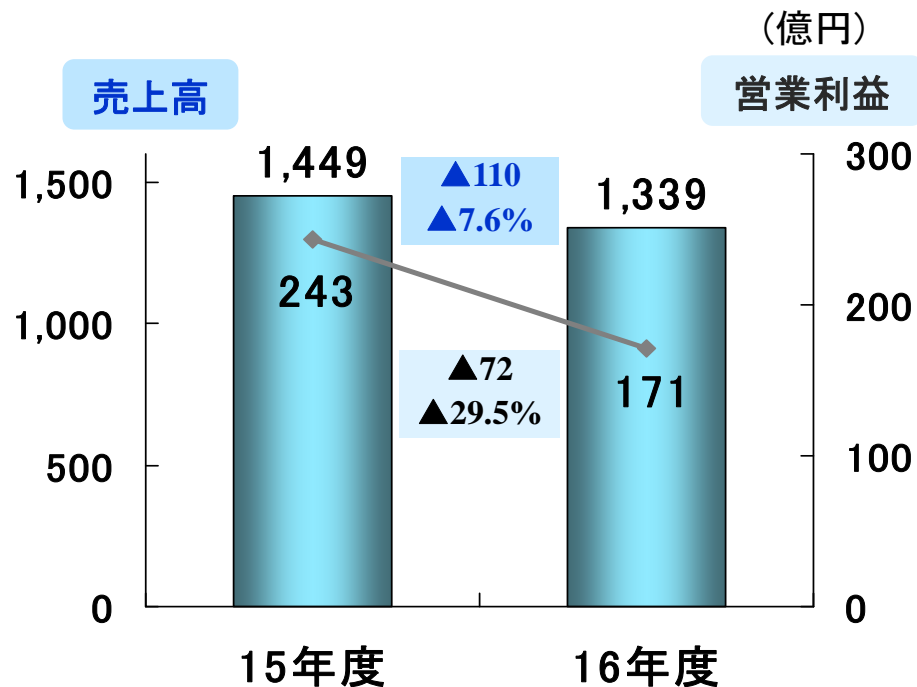
- ・従来販売してきた「ネオマフォーム」の断熱性能をさらに高めた断熱材「ネオマゼウス」を開発。(12月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





## <概況>

### ・医薬事業

骨粗鬆症治療剤「テリボン」や血液凝固阻止剤「リコモジュリン」などの販売数量が増加したが、薬価改定の影響を受けるとともに排尿障害改善剤「フリバス」が後発医薬品の影響を受けたことなどから、前期比減収、減益となった。

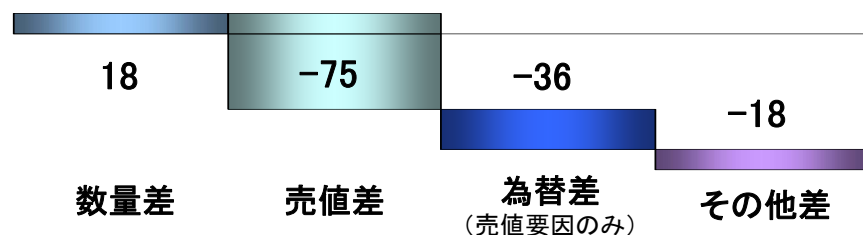
### ・医療事業

ウイルス除去フィルター「プラノバ」の販売数量が増加したが、円高の影響や国内の透析関連製品において償還価格改定の影響を受けたことなどから、前期比減収、減益となった。

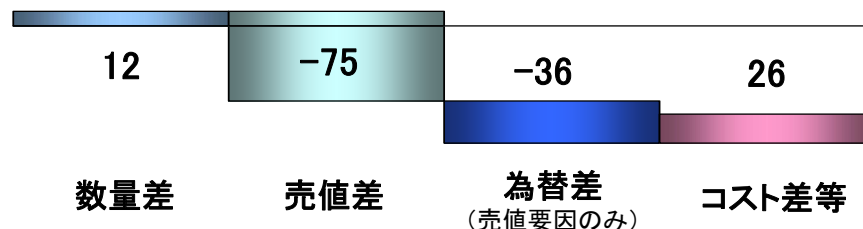
## <トピックス>

- ・フィンランドOrion Corporationと疼痛領域における研究・開発・商業化までを含めたグローバルな戦略的提携を行うことで合意、契約を締結。(6月)
- ・「リコモジュリン」の原薬製造を行うための医薬生産センター富士医薬工場医薬棟が竣工。(6月)
- ・「テリボン 皮下注用56.5 $\mu$ g」について、投与期間の上限を延長する承認事項一部変更承認を申請。(7月)
- ・「プラノバ BioEX」の紡糸工場が竣工。(9月)
- ・スイスBasilea Pharmaceutica International Ltd.の新規抗真菌薬である「isavuconazole(イサブコナゾール)」について、日本国内における独占的開発権および販売権を取得するライセンス契約締結を発表。(9月)
- ・「リクラスト点滴静注5mg」(一般名:ゾレドロン酸水和物、開発コード:AK156)の国内製造販売承認取得。(9月)薬価収載、発売。(11月)
- ・免疫抑制剤「ブレディニン」(一般名:ミゾリビン)の新たな剤形(口腔内崩壊錠)として「ブレディニンOD錠25、同OD錠50」を発売。(1月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



(億円)

		15年度			16年度		
		上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬事業	国内医薬	376	331	706	312	302	615
	その他	28	29	57	34	29	64
	計	404	360	763	347	331	678
医療事業		352	333	686	331	330	661
医薬・医療 計		756	693	1,449	678	661	1,339

<主要医薬品の国内売上高>

(億円)

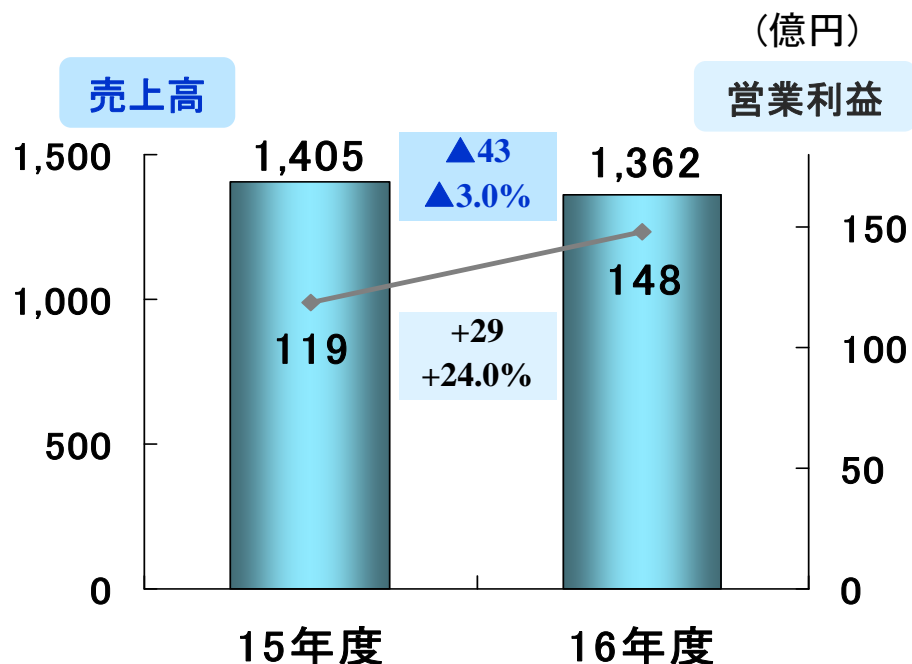
	15年度			16年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
テリボン	139	128	267	120	119	239
リコモジュリン	62	62	123	63	63	126
フリバス	56	37	93	31	28	59
エルシトニン	27	24	51	23	20	44
ブレディニン	27	24	51	22	20	42

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド 酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン: PTH)	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液 凝固症)	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
フリバス	ナフトピジル	$\alpha$ 1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	錠剤
エルシトニン注20S エルシトニン注20S ディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
ブレディニン	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、腎移植、 ネフローゼ症候群、 ループス腎炎	錠剤

		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	申請中の品目	MN-10-T注 (テリパラチド酢酸塩)	新用量医薬品	骨粗鬆症治療剤	骨折の危険性の 高い骨粗鬆症	自社	投与期間 延長
	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新効能医薬品	血液凝固阻止剤	特発性肺線維症の 急性増悪	自社	
		MN-10-T AI注 (テリパラチド酢酸塩)	新剤形・新用量 医薬品	骨粗鬆症治療剤	骨折の危険性の 高い骨粗鬆症	自社	
	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新効能医薬品	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	
海 外	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社	
		HE-69 (ミゾリビン)	適応拡大	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	自社	

## 探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。



## <概況>

営業活動強化に伴う販管費が増加したが、着用型自動除細動器「LifeVest」の業績が引き続き順調に拡大し、その他の除細動器の販売も堅調に推移したことなどから、現地通貨(USDル)ベースでは前期比増収、増益となった。

なお、財務諸表の円換算において円高に伴う影響を受けたことにより円換算後の売上高は減収となった。

## <参考:クリティカルケア事業業績推移(USDルベース)>

(百万USDル)

	15年度			16年度		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高(連結)	556	613	1,169	612	644	1,256
事業利益	101	122	223	126	133	259
のれん償却額	-37	-38	-75	-37	-38	-75
無形固定資産償却額等	-24	-24	-49	-24	-24	-47
償却額合計	-61	-62	-123	-61	-61	-122
営業利益(連結)	39	60	99	65	72	136